

一般外科・小児外科・肛門外科

1. 概要

(1) 一般外科・小児外科

2014年の手術総数は1,581件で、そのうち15歳以下の小児手術は175例。緊急手術は337件（21%）。対象疾患は、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から消化器・乳腺の悪性腫瘍まで幅広い。腹腔鏡下手術は、胃癌切除125件中18件、大腸癌切除201件中72件、肝部分切除27件中11件に対し行われた。2014年11月より直腸癌に対するロボット支援下手術を臨床研究として開始し、3件行った。乳癌手術は100件で、乳房温存手術は38例、センチネルリンパ節生検陰性は53件であった。肝切除は37件で、疾患別内訳は、原発性肝癌 19、転移性肝癌 13、胆道癌 1、その他 6。臍頭十二指腸切除は28例で、疾患別内訳は、臍腫瘍 15、胆嚢・胆管癌 6、乳頭部癌 7。上部消化管潰瘍穿孔25例のうち非手術的保存療法は7例だった。腸閉塞入院は165例でうち56例（34%）に手術が施行された。小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携し治療にあたっており、新生児手術は4例であった。

（第一部長 加藤 岳人）

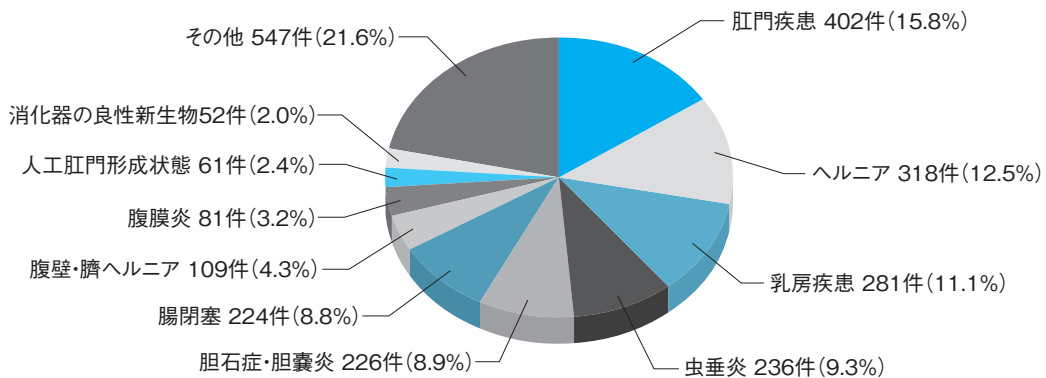
(2) 肛門外科

“肛門外科”は当院移転新設に伴い一般外科から離れ単科（こう門科）と標榜されたが、診療・治療は一般外科と共同で運営している。痔疾患など一般的な疾病を対象とするが、専門性を必要とした治療においてはやはり専門家での診療・治療を希望される患者様も多い。そのため肛門疾患のみならず、関連した直腸や大腸の病気に関する他医からの紹介もあり、日々肛門外科として診察や治療に当たっている。外来受診の際は、患者様が安心して受診できるような応対・環境整備を心掛け、特にプライバシーの面から診察で患者様に不自由・不快な思いを持たれないように努力している。良性疾患であり、治療後も日常生活に密接にかかわることから、外来処置や生活指導・薬物療法など保存治療に重きを置き、患者様の症状によってよく話し合った後に手術適応を決めている。“ストーマ外来”併設で人工肛門患者様のサポートを行っている。

（部長 柴田 佳久）

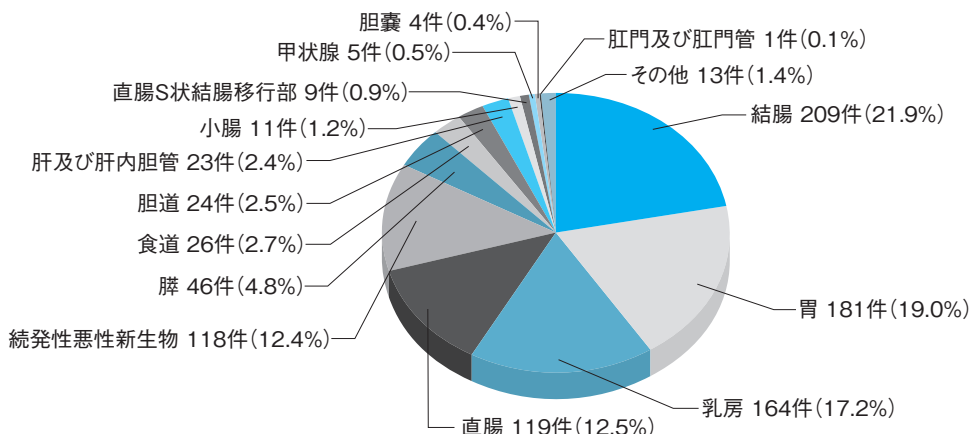
●疾患別頻度（悪性新生物を除く）

総件数：2,537件



●疾患別頻度（悪性新生物のみ）

総件数：953件



一般外科・小児外科手術数(2014年) (例)

①一般外科	1,406
全身麻酔	1,078
腰部麻酔	72
局部麻酔	256
(ア)甲状腺	
a 良性疾患	
(a)部分切除	0
(b)葉切、亜全摘	13
b 悪性疾患	
(a)部分切除、亜全摘、他	13
(b)全摘	6
(イ)乳 腺	
a 良性疾患	8
b 悪性疾患	
(a)定型乳切	0
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	29
(c)Bt(+SLNB)	31
(d)乳房温存手術(+SLNB)	38
(e)単純乳房切除・他	4
(ウ)食 道	
a 良性疾患	0
b 悪性疾患	
(a)胸部食道切除	5
(b)その他	1
(エ)胃十二指腸	
a 良性疾患	
(a)胃切除	0
(b)充填／その他	18

b 悪性疾患

(a)幽門側胃切除	65
(b)胃全摘	44(2)
(c)噴門側胃切除	0
(d)腹腔鏡下胃切除	16
(e)胃腸吻合	0
(f)楔状切除／十二指腸切除	9(4)
(g)PD	0
(h)単開腹／その他	1

(オ)小腸／大腸

a 良性疾患

(a)小腸切除	24
(b)腸瘻造設	5
(c)腸瘻閉鎖	18
(d)腸吻合	5
(e)結腸・直腸切除	14(5)
(f)大腸亜全摘	2
(g)癒着剥離	24
(h)経肛門／経仙骨的切除	1
(i)単開腹／その他	6

b 悪性疾患

(a)腸瘻造設	20
(b)腸吻合	2
(c)結腸切除	84
(d)腹腔鏡下結腸切除	45
(e)直腸切除	56(22)
(f)直腸切断	14(5)
(g)小腸切除	6
(h)経肛／経仙的切除	0
(i)骨盤内臓器摘出	1

(j)大腸亜全摘	1
(k)単開腹／その他	1
(カ)虫垂炎（虫垂／回盲部切除）	117(39)
(キ)肝/胆/膵/脾	
(a)肝部分切除	27(11)
(b)肝区域／葉切除	12
(c)肝床切除	3
(d)開腹胆摘	21
(e)開腹胆摘、胆管	5
(f)ラパコレ	137
(g)胆管消化管吻合	4
(h)胆管切除	0
(i)PD	0
(j)SsPPD/PPPD	29
(k)膵尾部切除	14
(l)膵全摘	1
(m)膵管空腸吻合	0
(n)脾摘	8(6)
(o)胃腸吻合	0
(p)単開腹／その他	4
(ク)内分泌	
(a)副甲状腺	1

(b)副腎	1
(ケ)ヘルニア	
(a)鼠径大腿	187
(b)腹壁、臍、ほか	17
(コ)痔核痔瘻	5
(サ)局麻手術	
(a)摘出、生検	32
(b)その他	61
(シ)外傷／医原性	8
(ス)腹膜炎	24
(セ)腹腔内癌再発	17
(ソ)その他	41
②小児外科(全例全身麻酔)	175
(ア)新生児手術	3
(イ)そけいヘルニア	61(52)
(ウ)虫垂切除	44(20)
(エ)その他	67

※複数の術式が行われた症例では、1症例で複数件としてカウント

()内は、腹腔鏡手術

一般外科 疾患・治療法別入院患者数・平均入院日数 (2014年)

入院患者総数 2,105人、平均入院日数12.2日、中央値7日

疾患名	治療法	患者数	平均入院日数
イレウス	手術	56	18.1日
	保存療法	109	8.5日
外傷	手術	5	16.2日
	保存療法	17	9.1日
合併症治療・抗腫剤有害事象	保存療法	54	12.1日
その他	手術	26	16.1日
	保存療法	51	12.1日
その他／悪性	手術	13	33.1日
	保存療法	3	7日
甲状腺／良性	手術	13	5.5日
	保存療法	0	-
甲状腺／悪性	手術	19	5.9日
	保存療法	1	3日
内分泌	予定手術	1	6日
非新生児	手術	150	8.2日
	保存療法	13	3.2日
腹腔内癌再発	手術	2	1.5日
	保存・緩和療法	1	21日
腹膜炎	手術	19	34.1日
	保存療法	24	12.2日
ヘルニア	手術	198	3.3日
	保存療法	5	3日
痔核・痔瘻	手術・保存療法	7	6.1日
虫垂	手術	119	4.4日
	保存療法	29	7.3日
胃十二指腸／良性	手術	18	29.2日
	保存療法	7	12.7日

疾患名	治療法	患者数	平均入院日数
胃十二指腸／悪性	手術	141	17.8日
	化学療法	24	4日
	放射線療法	1	12日
	緩和療法	29	26.8日
	保存療法	29	12.1日
肝胆膵脾	手術	251	13.5日
	保存療法	54	10.7日
	緩和療法	23	18.5日
	化学療法	3	4.7日
小・大腸／悪性	手術	241	17.6日
	化学療法	25	6.1日
	緩和療法	43	16日
	保存療法	46	15.3日
小・大腸／良性	手術	34	18.4日
	保存療法	13	6日
食道／悪性	手術	6	36.3日
	保存療法	2	8.5日
	化学/放治	8	10日
	緩和療法	5	19.6日
食道／良性	手術	0	-
	保存療法	1	21日
乳腺	手術	7	2.7日
乳腺／悪性	手術	107	8.4日
	保存療法	26	12.3日
	緩和療法	16	18.9日
	化学/放治	7	21.6日